

バナナランド 支援プログラム（生活編）

療育内容	ねらい	主な活動
健康チェック（準備等）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の健康問題の早期発見・早期対応を図る。 ・感染症や食中毒などの集団発生状況を把握し、感染の拡大防止や予防を図る。 ・日々の継続的な実施によって、子どもに自他の健康に興味・関心をもたせ、自己管理能力の育成を図る。 ・排泄、着替えの実施によって、日常生活で必要な技能・修得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、 ・体温チェック又は、はじまりの会等での健康観察 ・排泄、着替え
はじまりの会	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりの挨拶をすることで、挨拶することの大切さを身につける又は、施設内の人間関係を深めるようにする。 ・1日の流れを伝える事で、1日の見通しを持ち、様々な活動に対しての意欲を持たせるようにする。 ・支援者からの話では、1日の生活が気持ちよく始められるような話題提供をしたり、施設内の職員で子どもに伝える内容等を話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりの挨拶 ・健康観察（健康チェックに記載） ・1日の流れ ・支援者からの話
個別療育・運動療育	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のアセスメントを基に、一人ひとりに合った教材等を用意し取り組む事で、様々なスキルを修得することを図り、今後の自立した生活に結び付ける。 ・活動に取り組む中で、できた事を賞賛する、迷う事に対し支援者が適切な支援を促す、子どもの状況を把握することで子どもに合った支援をするなど、興味や関心を持たせるようにする。 ・運動の楽しさや発散方法を見つけていき、生活の安定につなげていくようにする。 ・学校や家庭との連携を図り、学習能力と生活能力の向上に向けた教材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態勢、模倣の力、目を動かす力、視覚認知、巧緻性、協応作業、書字、読字・文章理解、欲求表現、言語概念理解、言語指示理解、数概念、記憶力、感覚統合、粗大運動、ソーシャルスキル、心理面などへの必要な教材学習、運動機能の向上、発散方法の習得
おやつ／昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で休養を与え、疲れをとり、気分転換と情緒の安定につなげる。 ・おやつを食べる事で、子どもの栄養分を補っていくようにする。又は食べる前の手を洗って食卓で食べるという良い習慣を身につける様にする。 ・昼食でのマナーを守る事により、行儀よい昼食ができたり、自立に向けた食育へつながったりする。 	

<p>集団療育 (長期休暇のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育で取り組んでいることを活かし、日常生活での行動につなげる様にする。 ・集団の一員として自覚を持ち、他を思いやり助け合ったりする気持ちの大切さを身につける。また、子ども同士や支援者とのコミュニケーションをとることで、諸活動を楽しんだり、絆を深めたりする。 ・様々な場面においても、周囲や現状の状況等を見極め、安全に行動したり、支援者から伝える約束やルールを守って活動に参加できたりする。 ・諸活動でたてる個々の目的、目標に対し、適切な支援を取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用（公園、買い物等） ・その他、行事等での活動 (年間行事を参照) ・協応作業、欲求表現、言語概念理解、言語指示理解、数概念、記憶力、感覚統合、粗大運動、ソーシャルスキル、心理面など
<p>自由遊び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な時間の中で、本人が興味、関心を持つ活動を自己選択して取り組む。 ・子ども同士、職員との活動において、様々なゲームや遊びを通してやりとりを楽しんだり、気分転換や情緒の安定につなげたりする。 ・子ども同士のつながりや、新たな楽しみを共に開拓することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模倣の力、目を動かす力、視覚認知、巧緻性、協応作業、読字・文章理解、欲求表現、言語概念理解、言語指示理解、数概念、記憶力、感覚統合、粗大運動等につながるゲームや遊び
<p>帰りの会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の楽しかった事や印象に残った事を聞く事により、子どもとのやりとりをし、次につなげるような声かけ、適切な支援をすることで最後に気持ち良く終えるようにする。 ・次の療育活動への見通しが持てるよう、次回の活動をはなしたり、興味、関心のある事を提供できたりするような声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の活動の感想 ・支援者からの話 ・帰りの挨拶